

ことばや聴こえ、食べることが困難な方への支援方法

今回の大地震により、犠牲になられた方々とご遺族の皆様に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。このシートは、ことばや聴こえ、食べることが困難な方々を支援するために福岡県言語聴覚士会が作成したものです。被災地支援者の方々の参考になれば幸いです。

症状	考えられる問題	コミュニケーションや食事における対応方法
声をかけても気づかない。 周囲の音に反応しない。 話しの際、聞き返しや聞き誤りが多い。	難聴	◎放送や全体に向けてアナウンスされた内容が聴こえていないかもしれません。直接内容を伝えてあげてください。 ◎大声で話さず「ゆっくり」、「はっきり」、「区切って」話す。 ◎向き合って口元も見せ、身振りを加えて話す。 ◎紙と鉛筆があれば、書いてやりとりする。
物忘れが頻回である。 同じことを何度も聞く。 日付や場所がわからない。 話しのつじつまが合わない 夜間徘徊をする。 物を取られたと訴えたり、よく物を探している。	認知症	◎静かで落ち着いた場所で話をする。 ◎ゆっくり話を聴き、優しく声掛けをする。 ◎思い違いがあっても否定や訂正はせず、話に耳を傾ける。 ◎要件は短く簡単に伝える。 ◎必要な事は、ことばで伝えても忘れることがあるので、目につく場所にメモを貼って下さい。 ◎できるだけ同じ支援者が関わるようにする。
ことばが出てこない。 言い間違いが多い。 ことばを理解できない。 文字が理解できない。 文字が書けない。	失語症	◎「はい - いいえ」で答えられる質問をする。 例) 食事のことですか? → はい - いいえ ◎身振り、文字(漢字)、実物を用いて説明する。 ◎助詞で区切りながら話しかける。 ◎前後の話し、状況から勘を働かせてください。
ろれつが回らない。 ことばがはっきりしない。 ことばが聞き取りにくい。 声が小さい。	構音障害	◎ゆっくり話してもらう。 ◎何についての話しか、テーマを確認する。 ◎紙と鉛筆があれば、書いてやりとりする。 ◎50音表を指さしてもらう。
大声で叫ぶ。 パニックになる。 ウロウロする。 オウム返しする 何度も同じことを尋ねる。	言語発達障害	◎静かで落ち着いた場所に連れて行きましょう。 ◎椅子・座布団等を用意し、その子用の居場所を作る。 ◎予定や行くことを前もって伝えておく。 ◎物を選択する際は、実物をみせて選ばせる。 ◎要求を推測して「～したい?」「～がほしい?」と聴く。
よくむせる。 食事に時間がかかる。 常に痰がからんだ声。 歯がない。入れ歯が無い。 薬が飲み込めない。	嚥下(えんげ)障害	◎むせは我慢させず、力強く咳払いをさせて下さい。 ◎食後に歯磨きを行ってください。水が無い場合はウェットティッシュで口の中をふき取ってください。 ◎水やお茶はむせやすい食物です。増粘剤でとろみをつける事をお勧めします(増粘剤は薬局、病院などで入手可能)。 ◎食事でむせる方は、ペースト状の食事やとろみをかける事をお勧めします。増粘剤が無ければ片栗粉で代用して下さい。 ◎薬はむせにくい食物(プリン・ゼリー・ヨーグルト・すりつぶした物)に埋め込み(もしくは混ぜ込み)飲ませます。